





令和7年度 鋸南町地域おこし協力隊 活動報告書

隊員氏名	静 慎太郎	最長任期	令和7年6月 ~ 令和10年5月
活動内容	【鳥獣被害対策】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・箱罾、くくり罾を用いた有害鳥獣捕獲、その後の埋設処理等 ・鋸南町全域に及び鳥獣による被害調査と対策の実施 上記2項目の活動を中心に農家さんや町民さんとの意見交換を含むコミュニケーションの実施		
自己紹介	大阪府出身。食肉加工職人として食品衛生管理者を取得。食肉の原点を探し狩猟の世界へ、猟師として茨城県から群馬県に渡り実績を積み「いのちの循環」を追及する。 趣味は筋トレ。		

1年間（令和7年6月～令和8年3月）の主な活動

	<h3>●箱罾および括り罾を用いた有害鳥獣の捕獲</h3> <p>被害事案の報告を受けた地区に箱罾およびくくり罾を設置。一般的には「待ち」の猟法といわれる罾猟において、獣の足跡を探し出し捕らえる仕組みの「くくり罾」を主に使用しています。捕獲率が高く被害軽減に貢献しています。</p> <p>※現捕獲頭数（R7/7/23～R8/1/26）約半年：305頭</p>
	<h3>●鳥獣による被害調査と対策の実施</h3> <p>役場、町民からの依頼や鋸南町広域にわたる自主的な調査</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎田畑における農作物への被害 ◎獣による地滑り等の環境被害 <p>→獣の進入経路、生息個体の種類等を調査 イノシシ・鹿、キョンなどの大型獣捕獲→「くくり罾」設置 ハクビシン、アライグマなどの小型獣捕獲→「箱罾」設置</p>
	<h3>●農家さんや町民さんとの意見交換</h3> <p>「鳥獣被害対策とは防除ではなく駆除個体の管理捕獲であり管理捕獲とは里山や市街地の実態調査であると考えます」</p> <p>鳥獣被害対策に一所懸命従事することは、鋸南町の人々の暮らしに繋がると信じ今日のご縁をいただいています。鳥獣被害における意見交換が円滑に運べるよう、友好な関係づくりに努めています。</p>

他にも町の中でこんなことをしています、SNSの紹介

<p>君津市にある【猟師工房ランド】さんとの交流があり、生業としての猟師の在り方、次世代の人材育成、鳥獣被害対策とその傾向および利活用におけるビジネスモデルの構築など「ケモノゴト」×「エンタメ」をテーマに定期的に交流を図っています。</p>		 <p>@Y.HARADA1224</p>
--	--	--

今後の活動は…

<p>有害鳥獣として捕獲駆除（廃棄）されている「いのち」を、獣肉としての2次利用とすべく食肉処理施設を開業し流通を目指します。処理施設の立地や条件、または捕獲個体のセシウム検査や受け入れに関する仕組みづくり等課題は多々ありますが、鋸南町に「いきる」資源を活用した産業づくりの礎として邁進していきます。</p>
--